

## 未来を生きる子どもたちへのメッセージ ②⑤

### 『ヨネ・ノグチ イサム・ノグチ について』

#### 今月の言葉 『遊びは 芸術だ (イサム・ノグチ)』

三月に津島出身の詩人で英文学者『ヨネ・ノグチ (野口米次郎)』とその息子で世界的な彫刻家『イサム・ノグチ』に関する伝記を二冊読んでみました。津島市民の皆さんにはぜひ関心をもってほしい親子です。数年前、ヨネ・ノグチの妻であり、イサム・ノグチの母である「レオニー」が映画となり、この親子のことが取り上げられました。残念なことに津島市、中でも天王川公園でのロケがなかったことが悔やまれます。

ヨネ・ノグチ (野口米次郎) は津島町本町で生まれました。明治の初め、西福寺にあった陶成学校 (後の津島高等小学校、現南小学校) で英語を学びました。子どもの頃の米次郎は、阿弥陀様に落書きをしようとしたとか、一心不乱に本を読んだなどのエピソードが残っています。慶應義塾を途中でやめ、アメリカへ一人で渡ります。明治のエリートたちが国の留学生として決められた年限を学んできたのに対し、米次郎は冒険心にあふれ、自分のお金で働きながら、詩の勉強を好きな時間続けることになりました。アメリカの代表的な詩人ウォーン・ミラーの手伝いをしながら、日本人最初の英語の詩集を刊行しました。日本に帰国してからは、日本文化 (俳句・狂言・歌舞伎・浮世絵) を欧米の国々に紹介するなど、国際詩人 (二重国籍詩人) ・文化大使として活躍しました。

イサム・ノグチ (野口勇) は野口米次郎とレオニー・ギルモアの息子です。世界的な彫刻家、造園家、インテリアデザイナー、舞台芸術家。世界各地に彫刻や庭園の作品 (橋や門、噴水や庭園) などがあります。東海地方では「岐阜提灯」に関心を持ち、和紙によるあかりの柔らかさを表現しました。子どもたちのために「プレイマウンテン」のある公園づくりに没頭し、札幌市にあるモエレ沼公園にも関わりました。彼の人生は困難な問題に立ち向かう人たちの道しるべになっています。「遊びは芸術だ」と言い切る彼の人生は「良いと思ったらどんどん変える」「大きな自由を探し求めた」一生だったと言えるかもしれません。

津島とかかわりのある芸術家の親子です。ヨネ・ノグチは与謝野晶子をはじめとする当時の文化人を津島に連れて来てくれました。津島市立図書館には、この親子のコーナーもあります。是非一度彼らの伝記や作品集を手にとっていただきたいと思います。

令和4年4月8日  
津島市教育委員会  
教育長 浅井厚視